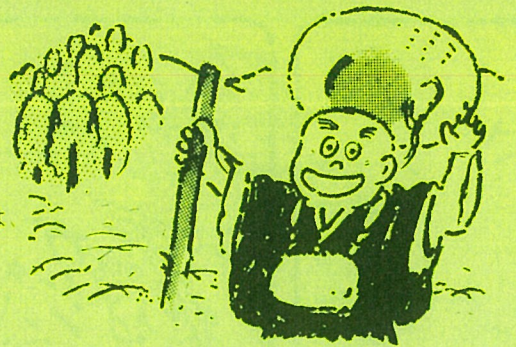


第11話

— 四 辻 —

阿武隈山地の山間に開けた我が集落は、
自然が美しく、そして昔から
とても信仰の厚いところであった



たまたがもの
民話と伝説

五百羅漢と札場

ご ひゃく ら かん ふだ いま



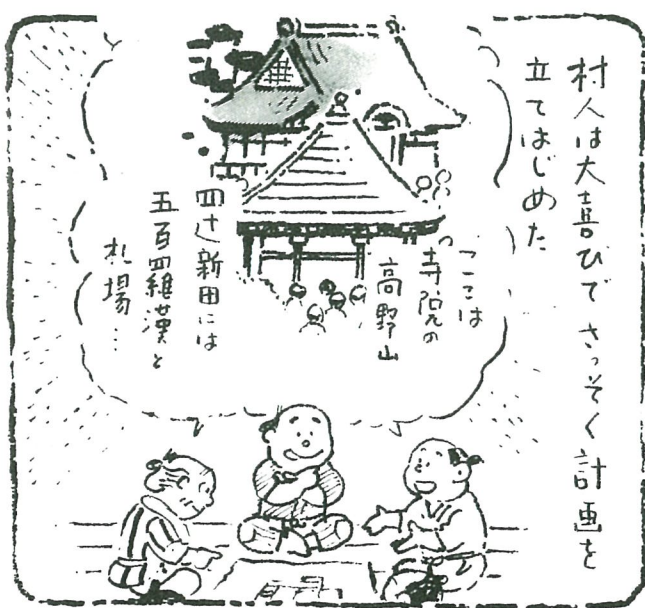
信仰心の厚い
里人は...

弘法大師さま
この地にどうか
お寺を建てて
くださいませ

お願
い申し上げます

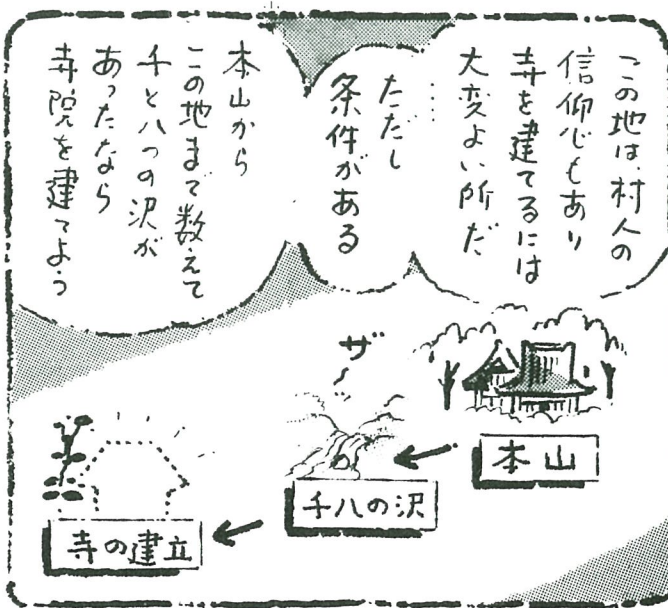


— 遠い昔、真言宗布教の
たの諸国を旅していた
弘法大師が当地方にやってきた。



村人は大喜びで、さっそく計画を
立てはじめた

高野山
寺の跡
四辻新田には
五百羅漢と
札場



この地は村人の
信仰心もあり
寺を建てるには
大変よい所だ

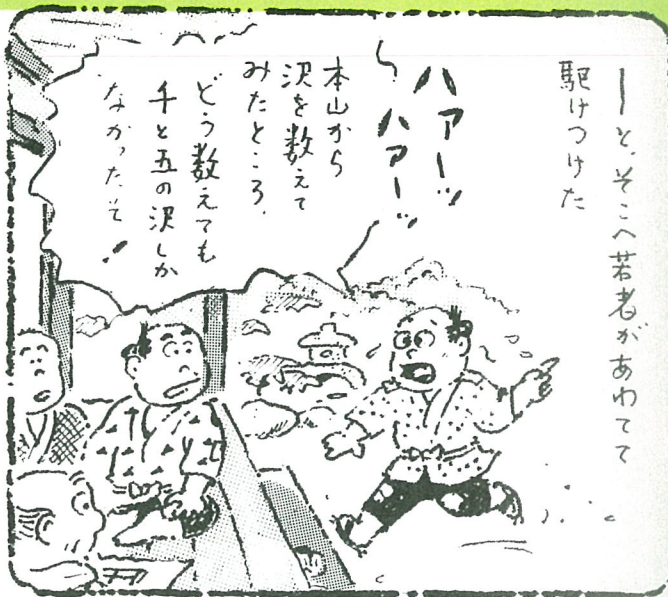
ただし
条件がある

本山から
この地まで教えて
千と八つの沢が
あったなら
寺院を建てよう

—と、そこへ若者があわてて
駆けつけた

ハア—ッ
ハア—ッ

本山から
沢を教えて
みたところ
どう教えたも
千と五の沢しか
なかったぞ



「これでは
三つ足りねえ
ではないか」



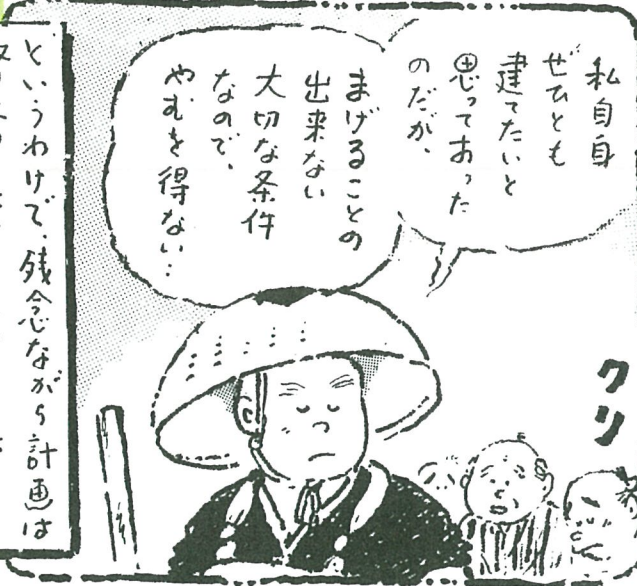
「それでも
なんとかして
寺を建立
してくれるよう
大師さまに
もう一度
お願いい
て
みよう」



私自身
せむとも
建つたいと
思ってたのだ

まげることの
出来ない
大切な条件
なので、
やむを得ない

取り止めに成ってしまいました。
というわけで、残念ながら計画は



「ではせめて
「高野山」や
「五百四雑沓」
「札場山」といった
地名を使わせて
下せえまし

大師は里人の信仰心の厚さに
感銘して、それを許しました。

—以来、
その時の名残
として、現在四辻新田に
「五百四雑沓」と「札場」
山小屋に「高野」の
地名がある。

また、タムができた
「千五沢」の地名も
この時についたと
いわれている

